

「岩手の復興と再生に」 オール岩大パワーを

vol. 34

<http://www.iwate-u.ac.jp/koho/fukkouletter.shtml> 岩手大学ホームページからもご覧いただけます。

第3回Kプロジェクト・いわて海洋セミナーを開催しました

10月4日、釜石サテライトを会場に第3回Kプロジェクト・いわて海洋セミナーを開催しました。

このセミナーは岩手大学が参画しているいわて海洋研究コンソーシアムと岩手県立釜石高等学校が共同で昨年度から開催しているものです。

セミナーでは、海洋・水産研究に興味を持つ釜石高校の生徒を始め、他校生徒、児童、一般の方々を対象に、三陸海域をフィールドとしている大学の研究者が講師を務め、アビ、サケなど三陸にとってなじみのある魚種をテーマに取り上げ、わかりやすく解説しました。

東京海洋大学の竹内裕准教授の講義では、アビを使って、頭や歯舌を確認するとともに呼水孔の役割など、アビの生態について説明を受けました。

初めてアビを観察する高校生がほとんどで、参加者は竹内准教授の説明に熱心に耳を傾けていました。

また、岩手大学三陸水産研究センターの阿部周一特任教授の講義では、遺伝子のしくみを使って、環境変化に耐える丈夫なサケをつくる岩手大学の研究が紹介されるとともに、サケの白子からDNAを取り出す実験を行いました。

受講者のアンケートからは「アビについて実際に見て学ぶことも多く、楽しみながら参加することが出来ました」、「鮭、川、海など僕たちが住む三陸について知らないことが



アビの説明をする東京海洋大学の竹内准教授(左)



サケの白子からDNAを取り出す実験を行う高校生



サケの講演を行う三陸水産研究センターの阿部特任教授

たくさん聞いて、それらや地元について理解を深めることが出来ました」などの感想が寄せられ、受講した生徒にとっては、三陸の海を身近に感じることに出来るセミナーとなりました。

次回は、漁業者、水産加工業関係者を対象としたセミナーを平成27年1月下旬頃に久慈市で開催する計画です。

岩手大学では、今後も海洋・水産研究に取り組んでいる大学や公設試験研究機関等と連携して、児童生徒、一般市民の多くの方々が海洋・水産研究に触れる機会を提供してまいります。

◆◆◆ いわて海洋セミナー【プログラム】 ◆◆◆

◆ 講義①「アビの体のつくりについて」

東京海洋大学 竹内 裕 准教授

◆ 講義②「魚介類に含まれる色々な成分について」

北里大学 森山俊介 教授

◆ 講義③「丈夫でおいしいサケの作り方について」

岩手大学 阿部周一 特任教授

◆ 講義④「海の肥料について」



東京大学 福田秀樹 助教

盛岡第四高等学校で 講演を行いました

9月16日、岩手県立盛岡第四高等学校において、三陸復興推進機構生活支援部門心のケア班の佐々木誠特任准教授が、第2学年278名の生徒を対象に「被災体験に寄り添う支援とは何か」と題して講演しました。

盛岡第四高等学校は被災地見学や震災・防災学習を通して人材を育成する復興教育を行っており、今回は佐々木特任准教授が被災者・支援者の心のケアや支援活動におけるコンサルテーションなどを行っていることから「復興教育講演会」の講師として招かれたものです。

佐々木特任准教授は、東日本大震災から3年が経過した被災地の現状と心身の変化について自身の活動も踏まえながら講演し、高校生に向けて「支援を行う上で最も大切なこと



高校生に向け講演する佐々木特任准教授

は続けること」、「自分のやりたいことを行ってほしい。それがいつか支援に繋がる場合もある」と語りかけました。さらに支援することの難しさや支援で大切なことについて詳しく説明し、高校生たちはメモを取りながら集中して耳を傾けていました。

岩手大学では、未来を担う若い世代に被災地の状況や復興支援について学ぶことができる取り組みを今後も続けてまいります。



熱心に講演を聴く高校生たち

岩手大学では、小・中・高校生に向けた復興教育に関わる講演等を行っています。ご要望がございましたら、可能な限り対応いたしますので、どうぞお問い合わせください。

お問い合わせ

岩手大学研究交流部三陸復興推進課

電話：019-621-6629 メール：sanriku@iwate-u.ac.jp

岩手大学三陸復興プロジェクト

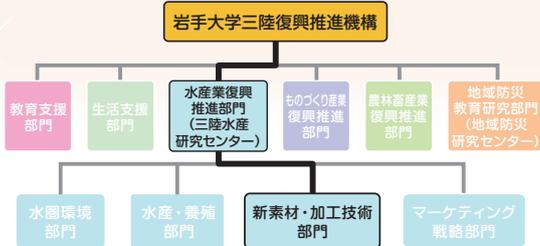
岩手大学では岩手大学三陸復興推進機構を設置し、地域の行政や住民、他大学、企業等と連携を図りながら、教職員・学生が一丸となって東日本大震災からの復興に取り組んでいます。今回は、水産関連作業支援ロボットの開発に取り組んでいる、水産復興推進部門(三陸水産研究センター新素材・加工技術部門)の活動の一例をご紹介します。

三陸水産研究センター 新素材・加工技術部門 三好研究室が'14水中ロボットコンベンション in JAMSTECで海洋研究開発機構理事長賞を受賞

岩手大学 三陸水産研究センター 新素材・加工技術部門
三好 扶 (工学部准教授)
高木 基樹 (特任研究員)

8月30日から31日にかけて(独)海洋研究開発機構(JAMSTEC、神奈川県横浜須賀野市)にて開催された'14水中ロボットコンベンション in JAMSTECにおいて、三好扶准教授、高木基樹特任研究員、本学学生3名がフリースタイル部門3位入賞、および海洋研究開発機構理事長賞を受賞しました。

水中ロボットコンベンション in JAMSTECは、水中ロボットによる競技会やプレゼンテーションを通じて参加者の交流の輪を広げるとともに、工学的知識・技術を駆使して現実的な課題に挑む機会を提供することを目的とした大会です。大会は一般競技AUV部門(自律移動型水中ロボット)、フリースタイル部門および高校競技の3つからなり、我々が研究開発しているROV(遠隔操縦型水中ロボット)2台をフリースタイル部門に出場させました。各部門



のエントリー数は、AUV部門11台、フリースタイル部門11台、高校競技5台で過去最大の台数がエントリーしていました。これらのロボットは水産資源管理用ロボット、水産関連作業支援ロボットとしての活用が見込まれ、例えば養殖いかだの育成状態の調査や水質・底調査等に利活用されます。

今後は、次世代の技術者たる小・中・高校生や社会に向けて水中ロボット研究の楽しさと重要性をアピールするとともに、広く水産関連業にロボット技術が普及するような活動に繋げてまいります。



さっしー(フリースタイル部門3位入賞)



FAN(海洋研究開発機構理事長賞受賞)

釜石サテライトだより

今回は、外部の方々からのご協力をいただき開催した2つの事業について紹介します。

●漁協女性部との調理実習について

釜石サテライト内にある水産加工実験室で、漁協女性部の方々を対象とした調理実習を行いました。管理栄養士の方を講師にお招きし、今までの勘や経験に加え、科学的な根拠にもとづいた技術で美味しさを求めた、地元の水産物を活用した料理作りについて学びました。

漁協女性部の方々だけではなく岩手大学人文社会科学部の学生も参加し、計50人ほどで、6~7人ごとの班を作って実習を行ったので、女性部のメンバーが学生に料理の仕方をアドバイスするなど世代を超えた交流をとおり、参加者は皆楽しそうに実習ができていました。

献立は、いかの香り飯、わかめ巻き、磯かんてん、鮭の汁物、果実で、参加者の中には初めて挑戦する料理があるという方もいらっしゃり、多くの人にとって良い刺激になった様子が窺えました。



調理実習の様子

●「あいまいな喪失」事例検討会

「あいまいな喪失」についての第一人者であるポーリン・ボス ミネソタ大学名誉教授をスーパーバイザーとして「あいまいな喪失」に関する事例検討会を行いました。釜石とアメリカをテレビ電話でつなぎ、その画像・

音声を投影し全員が確認できるようにしました。

「あいまいな喪失」とは、喪失(その人にとって大切な人や物事を失うこと)の中でも心理面か、実態面の片方を喪失している場合に言います。例えば、震災によって行方不明になっている家族がいる方(心理面は喪失していないが、実態がない「さよならのない別れ」)や、福島放射能関連での避難(家という実態はあるが、心理的に喪失している「別れのないさよなら」)という状態を言うそうです。

今回は日本で「あいまいな喪失」の認識の普及に尽力している災害グリーフサポートプロジェクトと三陸復興推進機構心のケア班の共催という形で実現したものです。

被災地では、あいまいな復興とならないように、物質面の充足に加え、心理面での整理のお手伝いが重要です。このような心理的な研修を地道に継続することは地元の大学でなければできない活動であると思われます。



テレビ電話を通じた事例検討会の様子

今後、様々なプロジェクトが展開される中で、現場窓口としてサポートさせていただきます。

●連絡先 岩手大学三陸復興推進機構釜石サテライト

〒026-0001 岩手県釜石市平田第三地割75-1
TEL:0193-55-5691(代表)/FAX:0193-36-1610
E-mail:kamaishi@iwate-u.ac.jp
URL: <http://www.iwate-u.ac.jp/reconstruct/kamaishi/>

Information

心のケア班 市民講座

岩手大学三陸復興推進機構 生活支援部門 心のケア班では、トラウマや喪失などのストレス、リラクゼーションなどのセルフケア、傾聴などの支援の可能性、心理的な問題等を学ぶ機会の提供を目的として、市民講座を定例に開催します。

①子どもの心のサポート

大変な出来事(トラウマ・喪失)があったとき、親が子どもにどのように接すればよいのか、子どもの喪失の理解や、学校で行われているケアを参考にしながら学びます。

日時: 11月26日(水) 18:30~20:00

定員: 60名

②相手を支える話の聴き方

話を聴くことの意義とその方法について、演習を通して学びます。

日時: 12月10日(水) 18:30~20:30

定員: 30名

★1月と2月にも開催予定★

場 所: 岩手大学釜石サテライト
講 師: 佐々木誠(三陸復興推進機構 特任准教授)
対 象: 関心のある一般の方
参 加 費: 無料
申込方法: 郵便、電話、FAX、メールで、氏名、住所、連絡先、参加希望日を下記の連絡先にお伝えください。
郵送: 〒026-0001 釜石市平田 3-75-1 岩手大学釜石サテライト「心のケア班市民講座」係
電話: 0193-55-5691 FAX: 0193-36-1610
メール: heart@iwate-u.ac.jp
申込期限: 開催日前日(定員になり次第締切)

